

NPO法人スペースゆうともの会 会報

令和2年5月創刊号

令和1年度 スペースゆうともの会 活動報告

① 宇和島市蔭渚地区矢ヶ浜・はいたか海岸

ビーチクリーン&シーボーンアート環境工作教室実施

R1.4.29 宇和島市蔭渚地区 矢ヶ浜・はいたか海岸にて、伊予銀行エバーグリーンの助成を受け宇和島市教育委員会後援によりビーチクリーン&シーボーンアート環境工作教室を蔭渚地区の小学校児童を中心とした児童・父兄とともに開催しました。



朝、9:30に宇和島市きさいや広場に参加者が集合し、広場裏の港から三浦渡船様の船に乗船し蔭渚地区へ。蔭渚地区の矢ヶ浜海岸およびはいたか海岸のビーチクリーンを実施し多くの漂着ゴミを回収・搬送し海岸をきれいにしました。ビーチクリーン後、蔭渚公民館にて昼食。昼食後、集会室にて日本渚の美術協会うわじま教室のスタッフ・愛媛大学社会共創学部のフィールドワーク実習生4名のアシストも受けながら、児童・父兄の皆さん方と楽しくビーチクリーンで回収してきた海の漂着物を素材として環境工作教室を開催し、たくさんの環境工作アート作品が生まれました。

その後、表彰式のため蔭渕のコモテラスへ移動する前にちょっと日振島の喜路の奇岩や海蝕洞窟の壮大な自然景観を見学してから、コモテラスへ。

コモテラスでは、参加者の子供たちが父兄とともに作った思い思いの作品を発表しながら、表彰式・各賞を授与されイベントの交流を楽しみました。

最後に参加者全員で 海へのゴミのポイ捨て撲滅宣言を行い終了。三浦渡船に再度乗船し、きさいや広場へ帰港となりました。

参加された子供たち、父兄の皆さんがこのイベントをきっかけに海の環境を守ることの大切さを心の中に記憶してもらえたら幸いです。

スペースゆうでは、来年度もあらたな海岸でこのイベントを予定しております。



② 宇和島商店街 夜市 貝絵教室

毎年恒例の土曜夜市に今年度も参加しました。6月下旬から7月いっぱい、最後はお盆の土曜日に夜店もたくさん出て商店街は賑わいます。廃棄される緋扇貝をアートに変える活動は夏の風物詩として市民に定着してきました。“宇和島に貝絵あり”全国区を目指してこれからも当会の活動の柱としてがんばります。



③ 3R貝絵アート展示会コンテスト



R1. 8.10～8.18のお盆を含む期間中、宇和島市圏域小中学校20数校の貝絵作品及び市内絵画教室・保育園・宇和島東高校・松山私立済美高校の貝絵作品協賛出品、宇和島市後援により3R貝絵アート展示会・コンテストを宇和島市きさいや屋根つきステージ

にて開催しました。

約2,000点の貝絵アート作品が宇和島市圏域・松山市から集まり、お盆期間中もあり数多くの帰省客や旅行客にも展覧していただくことができ盛況のうちに事業完了いたしました。

3Rとはリサイクル・リユース・リデュースの3つの方策により資源循環型社会の構築を進めていくもので、今回は社会福祉法人八つ鹿会八つ鹿工房の障碍者の利用者の皆さんに、貝絵の土台となる貝殻

キャンパスの研磨をお願いし数千枚のヒオウギ貝の貝殻を市内外の小中高等学校の児童生徒に配ることができました。各校各団体とも授業やクラブ活動等において感性のある様々な作品を製作してもらいコンテスト・展示会に彩りを添え展覧されたお客様の目を楽しませておりました。

この活動を通じて多くの人たちが子供たちの目を通してゴミを捨てない、ゴミを捨てさせない、ゴミを削減する、3Rするという習慣を身に付けてもらえることを期待しています。

④ 男女共同参画フェスティバル参加

公募企画イベントと貝絵・ワークショップ

環境講演会 講師 愛媛大 李 賢映 さん他2名

家族で・夫婦で学ぶ、実践 家庭内省エネのノウハウ・Doハウ

～省エネによる地球温暖化防止活動を男女共同参画で実践すれば
家庭内にお金が残る、知恵がたまるいいお話～

R.1.12.14 日午前
10時から愛媛県
男女共同参画セ
ンター3F 研修室
にて、スペースゆ
う主催による環
境講演会を開催
しました。

「えひめ男女共同参画フェスティバル2019」が14日、愛媛県松山市山越町の県男女共同参画センターで始まった。地球温暖化や省エネに関する講演、手作り雑貨販売コーナーなどがあり、来場者が楽しんだ。15日まで。



世界の持続可能な発展のためにそれぞれが省エネなどの意識を持つべきだと訴える李講師

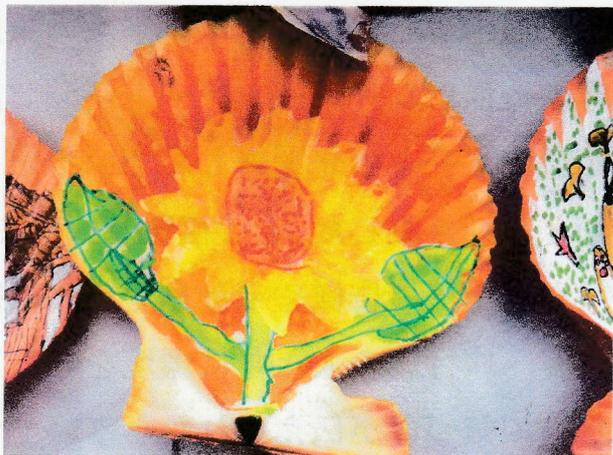
この講演会は、地球温暖化防止活動を拡大していく上で、家庭内の省エネを実践することで CO2 の削減を進めていくことを広く一般市民に発信していくことを目的として実施しました。

家庭内でエネルギーを消費する（電気・水道・ガス・灯油・自動車等）ことは、CO2 の発生を起こすことを理解してもらい、省エネすることで地球温暖化の抑制につながり、なおかつ家庭内の出費を抑えていくことができることを 3 名の環境講師（環境カウンセラー・地球温暖化防止活動推進センター職員・社会保険労務士）によりスライドプレゼンテーションしてもらい参加者の人たちに学んでもらえました。今後も機会があれば宇和島市にても同じ事業を実施したいと考えております。

貝絵教室とシーボーンアートのワークショップ開催

緋扇貝の貝絵教室は 14 日～15 日と開催

松山の男女共同参画センターには毎年参加しているのでリピーターもあって盛況でした。新たにレジンアートとデコパージュのワーキングショップも加えて好評を得ました。



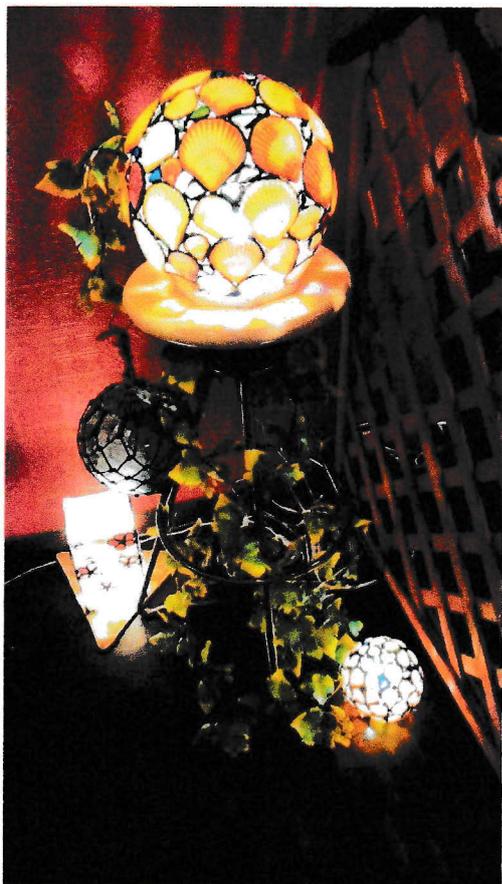
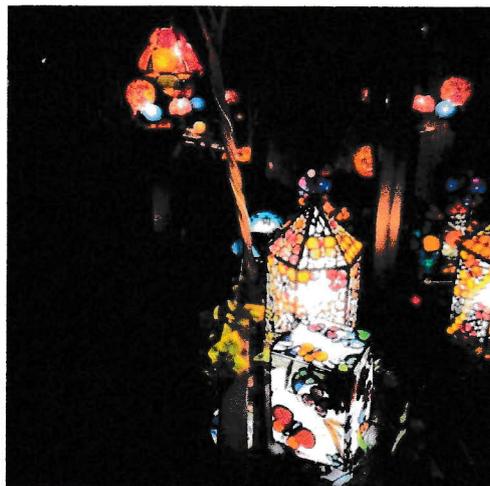
⑤ 光の商店街プロジェクト

光の商店街プロジェクトとは、ビーチクリーン等、海で拾った漂着物を素材にしてアート創作したランプシェード作品を宇和島商店街内各店舗のショーウィンドウに展示してもらい、宇和島商店街内を環境アートの観光名所にしてく活動です。

この事業は 2～3 年前より県の三浦保基金などを通じて NPO 法人日本渚の美術協会う

わじま教室と共同で、少しずつ作品を製作して商店街内店舗にお願いし了解を得られた店舗のショーウィンドに展示してきました。現在、宇和島商店街内に約 40 数点の作品が展示されています。

また、今年の 2 月 15 日～3 月 15 日の期間、宇和島新町商店街にある珈琲亭 TAO の 2 階にて約一ヵ月間 30 数点のシーボーンアートランプシェード作品を展示させていただき、多数の来店客の皆様にシーボーンアートが醸し出す環境アートの光を楽しんでいただくことができました。この活動を通じて、宇和島市民の皆様や宇和島を訪れる観光客・旅行者の人たちに環境を守ることへの気づきが伝えられたら幸いです。



⑥ 貸しスペースと福祉活動

そもそもスペースゆうは12年前に理事長所有の空き店舗を活用して商店街の活性化と地域福祉の推進を図るべくスタートしました。試行錯誤を重ねながら3年前に法人化を実現し更なる前進を目指します。社会福祉法人八つ鹿会との提携による「やっしかふえ」の運営はその存在が着々と地域になじみはじめ気軽に寛げる場として定着しつつあります。様々な活動の場としても多岐にわたって活用され地域のコミュニティーカフェとして生かされてきました。



◎認知症カフェ「オレンジカフェまんまる」

(宇和島市地域包括支援センター主催。毎月第二火曜日開催。)

◎シーボーンアトうわじま教室 (第2・第4土曜日)

◎初心者向け管楽器教室 (毎週土曜日)

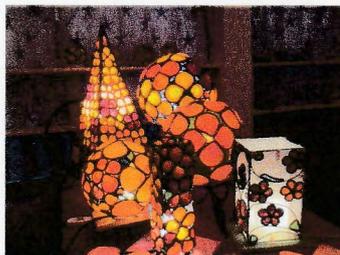
◎合唱サークル「カルチエマダム」月2回

◎ヨガ教室。毎週木曜日



◎随時ミニコンサート、小さな会合、打合せ、読書会、研究会など

まだまだ十分とは云えませんが常に原点を見つめつつ、ひたむきに努めてまいります。



ホームページ作成中

目下 ホームページを作成中です。是非ともご覧ください！

<https://uwajima-space-u.com>

